



今回は再生可能エネルギーの中から「バイオマス」を紹介し

◆バイオマスってなに？

聞きなれない言葉ですが、生物資源(バイオ)と量(マス)を表す言葉で、動植物から生まれた再生可能な有機物質(石油や、石炭などの化石燃料は除く)のことを言います。具体的には、家庭から出る生ごみ、家畜のふん尿、林地残材などがあります。

◆バイオマスでなにができるの？

バイオマスは、木質や、生ごみなどの生物に由来することから「生きた燃料」とも言われています。このバイオマスを利用して燃料にしたり発電したりできます。

◆バイオディーゼル燃料
これはディーゼルエンジンの燃料となり廃食用油や菜種油などから作ることができます。東日本大震災の時には、このバイオディーゼル燃料が活躍したところもあるようです。

◆メタン発酵によるガス燃料
家畜ふん尿や、生ごみなどのメタン発酵により、可燃性のメタンガスを含むバイオガスを生産することが出来ます。そのバイオガスを燃焼させて電気や熱を利用することが出来ます。

◆木質バイオマス発電

間伐材や木材の端材などを燃料にして発電し、電気や熱を利用することが出来ます。木材を燃やすとCO₂が発生しますが、樹木は光合成によってCO₂を吸収しているため、全体で見ると大気中のCO₂を増加させないこととなります。

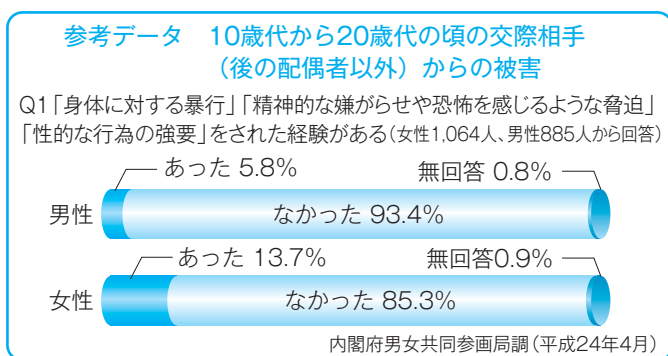


※次回は、水力発電についてご紹介いたします。

女性のための相談室

「デートDV (交際相手からの暴力)」

ドメスティックバイオレンス(DV)とは、「親密な関係にあるパートナーからの暴力」のことを言いますが、最近では、デートDVと呼ばれる「交際相手からの暴力」も問題になっていきます。好きな人と交際しているはずなのに、相手のことを「こわい」と思ったり、その交際を「つらい」と感じたりすることがあるとしたり、二人の「関係」がおかしいのかもしれない。



こんな風に感じたことはありませんか

- いつも彼の顔色をうかがい、ビクビクしている
- どこで何をしているか行動のすべてを知りたがる
- デートの内容は全部彼が決める
- 頻繁に携帯やメールがきて、すぐ対応しないと怒る
- 感情の起伏がはげしく、突然怒り出す
- 交際相手を所有物のように扱う
- 嫉妬心が強い
- 性行為を強要したりコンドームを使いたがらない など

もし、あなたやあなたの周りの人が、交際相手との関係に悩んでいたら・・・

●バブルホットライン
0120・941・826
(全国どこからでも無料通話)

●配偶者暴力相談支援センター
(祝祭日・年末年始は休み)
028(665) 8720
(月・金) 午前9時~午後8時
(土・日) 午前9時~午後4時

●女性支援ダイヤル
028(793) 0018
(月・水) 午後4時~8時
(土・日) 午前9時~午後5時

新着図書

那珂川町図書館

『十二単衣を着た悪魔』



アルバイトで「源氏物語展」の設営を終えた伊藤藤は、突然源氏物語の世界にトリップしてしまう。しかし、アルバイト先で配られた「源氏物語」のあらすじ本を持っていったため、雷は次々と未来を予測し、比類なき陰陽師として、その世界で自分の存在価値を見出す事に成功する。光源氏を目的とする皇妃と手を組んだ雷は…。

人間の本性を描き続けてきた著者が描く、もう一つの「源氏物語」。

内館 牧子／著 (幻冬舎)

『少女は卒業しない』



今日、わたしはさよならする。図書室の先生と。退学してしまった幼馴染と。生徒会の先輩と。部内公認で付合っているアイツと。放課後の音楽室と。ただひとり心許せる友だちと。そして、ずっと抱えてきたこの想いと…。

廃校が決まった地方の高校、最後の卒業式。少女七人が迎える、それぞれの別れを、瑞々しく描く。恋愛、友情、夢、後悔、成長。青春の全てを詰め込んだ連作短編集。

朝井リョウ／著 (集英社)

『東京スカイツリーの秘密』



東京の新名所、東京スカイツリー。六百三十四メートルも高さのある電波塔を作るには、どのような技術が必要だったのか。日本の伝統工法と、最新の建築技術と建材、そして大勢の人々のこころが合わさり、百年に一度のプロジェクトはどう完成へと向かったのか。

日本のもつくりの底力がわかる感動エピソードが、ぎゅっとなつまった一冊。

瀧井宏臣／著 (講談社)

- ◇『語りつづける、届くまで』 大沢在昌／著 (講談社)
- ◇『起終点駅』 桜木紫乃／著 (小学館)
- ◇『双頭のバビロン』 皆川博子／著 (東京創元社)
- ◇『旅屋おかえり』 原田マハ／著 (集英社)
- ◇『太陽は動かない』 吉田修一／著 (幻冬舎)
- ◇『霖雨』 葉室麟／著 (PHP研究所)
- ◇『江戸へ吹く風』 岩井三四／著 (文藝春秋)
- ◇『丘の上の邂逅』 三浦綾子／著 (小学館)
- ◇『遺稿』 立川談志／著 (講談社)
- ◇『親バカってすばらしい!』 陰山英男／著 (講談社)
- ◇『北朝鮮現代史』 和田春樹／著 (岩波書店)
- ◇『モールで作るかわいい動物マスコット』 キタナカアツシ／著 (NHK出版)
- ◇『バテない体をつくる登山エクササイズ』 大森義彦／監修 (誠文堂新光社)

俳句

広報文芸

さはやかな返事響かす入学児
地下足袋に匂ふ土くれ畑を打つ
真つ白き辛夷の花に胸躍る
針穴に糸通らざる日永かな
那珂川のたりまつたり春ながる
天降り来し春雷猫の瞳に宿る

松野 青木 俊蓉
矢又 星 幸子
矢又 大金 祐子
吉田 国安 薫
小川 金井 和子
小川 和泉すみを

短歌

つくばいの前に真白の柄杓もつきみのめぐりに若葉はそよぎ
申し訳ないとケータイ電話しているがすまなさそうには見えぬ
緑木に囲まれて立つ菩薩背に春の祭のコーラス冴える
菜の花の畑に唄ふおぼろ月吾はひととき童心に還る
和見 小高 歌子
太りたる野蒜を掘れば球根は双子を抱へて増えてゆくなり
小口 影沢 よし
合同歌集生まむと氣負ふ春ひと日互ひの歌に心述べ合ふ

馬頭 西宮 定子

川柳

兄ちゃんになつて覚えた半分こ
一日の疲れを癒す湯気の中
田植機の音も止まった五月晴れ
披露宴嘘半分のはじめ上手
頃合いを見て年寄りが引く一歩

大山田郷 佐藤 有紀
小砂 笹沼 季子
薬利 大崎 克明
谷田 岡崎 甫子
小川 平澤 照雄